

## 市長記者会見記録

日時：2024年4月16日（火）14時00分～14時33分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：～全国初！飛鳥時代の復元倉庫誕生！～史跡橘樹官衙遺跡群に橘樹歴史公園がオープンします【教育委員会事務局】

### <内容>

#### 【議題】

《～全国初！飛鳥時代の復元倉庫誕生！～史跡橘樹官衙遺跡群に橘樹歴史公園がオープンします》

【司会】 ただいまから市長記者会見を始めます。本日の議題は「～全国初！ 飛鳥時代の復元倉庫誕生！～史跡橘樹官衙遺跡群に橘樹歴史公園がオープンします」となっております。

初めに、福田市長から本議題について御説明いたします。市長、よろしく申し上げます。

【市長】 それでは、史跡橘樹官衙遺跡群に整備いたしました橘樹歴史公園のオープンについて発表させていただきます。

史跡橘樹官衙遺跡群は、古代橘樹郡の役所跡である橘樹郡家跡と古代寺院である影向寺遺跡から成る遺跡群です。この遺跡群は、都市化の進んだ川崎市にあって、古代の郡家と寺院が一体として現在まで奇跡的に保存されている全国的にも貴重なものであり、本市のみならず、我が国の古代史を解明する上で欠くことのできない重要な遺跡群として、平成27年3月に本市初の国史跡に指定されております。

市民の皆様はこの史跡橘樹官衙遺跡群の歴史的価値を知っていただくとともに、郷土への愛着をさらに深めていただけるよう、本市では令和4年度から橘樹郡家跡で整備を進めてまいりました。

この整備の目玉となるのが、全国初の飛鳥時代の倉庫の復元でございます。奈良時代の復元倉庫は全国に数か所の実例がございますが、本市の飛鳥時代の復元倉庫は、文化庁、学識者による調査整備委員会で復元方針を検討の上、建物の構造は、板を組んで屋根等を支える板校倉造り、屋根はかやぶきで復元しております。

この整備が本年2月末に完了したことから、来月18日に、本市初の歴史公園となる橘樹歴史公園をオープンいたします。資料1が完成した橘樹歴史公園の全景となります。

市制100周年を迎える記念すべき年に、橘樹官衙遺跡群で歴史公園がオープンするという奇跡的な巡り合わせに恵まれました。市民の皆様とこの喜びを分かち合えればと考え、橘樹歴史公園オープン記念式典を開催いたします。

古代の川崎市役所とも言える橘樹官衙遺跡群であることから、当日は、私が郡の長官である橘樹郡司として挨拶をさせていただきます。また、古代の雰囲気を感じていただくため、当時の衣装を使用したセレモニーを予定しておりますが、この衣装はガバメントクラウドファンディングの御寄附を活用させていただきました。今後も、様々なイベント等において多くの方々がこの衣装を着用し、いにしへの橘樹の地に思いをはせていただきたいと思いますと考えております。

さらに、全国初の飛鳥時代の復元倉庫が完成したことを祝い、いにしへの時代、建物を新築した際などに行われていました雅楽の演目である「賀殿」の上演を予定しております。

資料2がオープン記念式典の案内チラシになりますが、今後はこのチラシを市内各所に配布するとともに、市政だより、市ホームページ、X、メールマガジンなどを通じて市民の皆様にご案内してまいります。

引き続き橘樹官衙遺跡群の調査研究を進め、市民の皆様が郷土の誇りとして、また古代のロマンを感じられる場として活用していただけるよう、これまで以上にこの遺跡群の保存・活用に取り組んでまいります。古代史ファンの注目の歴史スポットの誕生となりますので、市民の皆様だけでなく、全国から多くの方々にお越しいただけるよう、さらなる情報発信にも努めてまいります。

説明としては以上です。

【司会】 それでは、ただいまの議題に関する質疑応答に入ります。なお、市政一般に関する質疑につきましては、議題についての質疑が終了後、改めてお受けいたします。

それでは、進行につきましては、幹事社の記者様、よろしく申し上げます。

【神奈川（幹事社）】 神奈川新聞です。よろしく申し上げます。

市長は、こちらは視察などされたことはあるのでしょうか。

【市長】 はい、何度もあります。

【神奈川（幹事社）】 そのときの実感も含めて、アピールポイントを教えていただければと思います。

【市長】 これまで広場としては整備されていたんですけども、立て看板があるだけで、どういったものがここに建っていたのかなというのが、ちょっとイメージしづ

らいというのがありましたけれども、今回、倉庫が復元されたことによりまして、実際に飛鳥時代にこういうものが建っていたのかということを目で見ていただく、実感していただくことができるということは大きいのではないかなと思います。

心柱といいますか、柱を建てたときには、地元の小学校の皆さんにも、かつて、古代、その時代には柱を引いてきたんだということを、少し再現するなどして体感していただきました。地域の方にも参加していただいて、これが昔の市役所だったのかということは何となく実感していただけるような、そんな公園になるのではないかと期待しています。

【神奈川（幹事社）】 あと、目標とする来場者数、何か数字があれば教えてください。

【市長】 あくまでも目安でありますけれども、約2万人、年間2万人ぐらいの皆様に来ていただきたいと考えております。

【神奈川（幹事社）】 すみません、事務方になるかと思うんですが、こちらの歴史的な価値ですとか、こういったところが価値があるのか、教えていただければと思うんですが。

【教育委員会事務局】 文化財課になります。

歴史的な価値としまして、まず橘樹官衙遺跡群という古代の役所の跡と、それから古代の寺院の跡、これが隣接して、この都市化が進んだ川崎において残っていることの価値というものは、川崎だけではなくて国レベルの非常に価値があるということと、それから、今回、飛鳥時代の倉庫復元ということで、市長からありましたように、奈良時代の倉庫については数件の事例がございまして、ただ、実際に飛鳥時代の倉庫は実在しないものですから、それをきちんと各専門分野、建築だったり歴史だったり考古学、こういった様々な分野の方々の検証を得て、板校倉という工法ですけれども、復元している倉庫の中で板校倉造りという形を採用しているのは、今回、橘樹官衙遺跡群の倉庫が初めてになります。

また、かやぶきという形をして、全国初の飛鳥時代の建物、倉庫の復元ということになりますので、これをこの100周年の年にいろいろな形でPRをしていきたいということと、それから、これも市長のほうでありましたけれども、クラウドファンディングで、昨年、古代の衣装を作成しておりますので、こちらを新しくできた公園のほうで試着をしたり、それから記念撮影するとか、様々なイベントで使っていくということで、川崎市の歴史に多くの方々に興味を持っていただく。それから、考古、歴史ファンの方には、市外からも広く来ていただきたいと、そういうことを考えております。

以上です。

【神奈川（幹事社）】 板校倉造りというのは、当時の工法をそのまま採用したということなんですか。

【教育委員会事務局】 はい。柱を使わず板を組み合わせる、それで建物の屋根だとかの強度を保つという、そういう造りになっておりますので、それをそのまま採用した形になります。

【神奈川（幹事社）】 あと、もう一点。この倉庫から当時のことでどんなことが分かるのか、教えてください。

【教育委員会事務局】 橘樹郡の税としての稲を集めて納める蔵、倉庫という形の倉庫が並んでいたということで、当時、橘樹郡は、古代の時代、大体5,000人ぐらいの人口がいたと推定されています。この人口5,000人の中で、大人の場合、どれぐらい、一定の稲を納めるということが決まっていますので、そうすると、おのずと、5,000人の郡の中で、こういった規模の倉庫を作って、これが何棟あって、それが納めていくということが分かります。

今回復元しているのは1棟ですけれども、ほかは柱のみを一部復元している棟もございますけれども、こういった中で、おおむね、かつて十数棟の建物、倉庫があったと推定されておりますので、そういったものも、当時の橘樹郡、実は現在の川崎市の市域とほぼ同じ部分になっておりますので、そういったところで、かつての人口だとか、そこで納められた稲の規模、そういったものをこの遺跡で体感してもらえればと考えています。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。私は以上になります。

【市長】 ちょっと付け加えさせていただきますと、資料1ページに書いてありますとおり、当時のことを再現するために、使った大工道具、手斧と書いて「ちょうな」と言うんですか、やりがんなを使用する等、可能な限り当時の工法でやっているというのは、非常に珍しいのではないかなと思います。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

【t v k（幹事社）】 1問だけ。テレビ神奈川です。よろしくお願いします。

ちょっと神奈川新聞さんと質問かぶってしまうかもしれないんですけど、みんなが来られるところに、こういった歴史を感じる、川崎の初めての唯一の史跡が公園になるということで、どういう場所になってもらいたいと思いますか。

【市長】 まず、この橘樹官衙遺跡群というのが、川崎市で初めての国指定の史跡という形になったこと自体が、私どもとしては非常に誇らしいと思っていますし、それ

が全国で初めて飛鳥時代の倉庫が復元できたということは、大変市民の誇りでもありますし、全国に古代の歴史のことを好きな方はたくさんいらっしゃいますので、そういう方に見ていただく、実際こういうふうに住っているものというのはほかにはないので、見ていただく貴重な資料になるのではないかなと思っています。もともとあったということは知っている方も多いたと思いますが、実際に足を運んでいただく、いいものができたと感じております。

【tvk（幹事社）】 ありがとうございます。幹事社からは以上です。

【時事】 時事通信社なんですけど、先ほど、当日、市長が郡司として挨拶すると。多分2枚目の第1部の①のところ、「郡司あいさつ」というところが市長の挨拶になるんですかね。それで、郡司として挨拶するなら、例えば当時の服装で来るとか、何かそういう予定はあるんですか。

【市長】 当時の、クラウドファンディングで作成した衣装を着るということになっているんですよ。——はい。私としては、もう少し適当な人がいないのかという話をしたんですが、私ということでありましたので。

【時事】 では、当時に近い格好で挨拶をする。

【市長】 はい。

【時事】 そうですか。分かりました。

【読売】 読売新聞です。

ちょっと細かいことになりますけれども、多分事務方のほうがいいのかもかもしれませんが、埼玉県岡部町、今の深谷市に中宿遺跡というのがあって、あれがたしか7世紀後半から10世紀にかけての武蔵国の、こういう同じような、橘樹官衙とほとんど同じような形態のものだと思います。あそこは、もう大分前に倉庫を2棟ぐらい復元しているんですけども、あれも時代的には橘樹官衙とほとんど同じ時期で、あれよりもこっちのほうが古いと言えるんでしょうか。そこがちょっと疑問なんですけれども。それで、いろいろ調べると、たしかあそこ、僕のうろ覚えかもしれませんが、あれもたしか飛鳥時代と言っているところもあれば、奈良時代と言っているところもあって、どっちも説があるみたいなんですけど、その点はいかがなんでしょうか。

【教育委員会事務局】 今お話しのありました埼玉県深谷市の中宿の古代の倉庫ですね。時代はほぼ同じ時代と考えられておりますけれども、この遺跡でも時代的な空間がありますので、その中で、実際に復元された建物は、奈良時代の建物を復元されたと同っております。

ちなみに、こちらは、かやぶきではなくて、板ぶきの屋根で復元したと同っております。

ます。

【東京】 東京新聞です。

私も事務方になってしまうと思うんですけれども、こちらの復元にかかった整備費用と、今後維持するために年間どれぐらいの費用が必要になるのかということと、あと、当日は入場無料ということですが、これは今後も無料でよいのかということをお聞かせいただけますでしょうか。

【教育委員会事務局】 まず、この歴史公園の整備でございますけれども、この公園の整備、これは地下に埋まっている遺跡の保全、それから公園として園路を整備したり、植栽をすとか、そういった整備と併せてこの倉庫の復元ですけれども、合わせて2億6,416万円を費用としております。2億6,416万円です。失礼しました。2億6,416万円です。

【朝日】 総事業費でよろしいのでしょうか。

【教育委員会事務局】 総事業費になります。公園の整備と建物の整備になります。

【市長】 内訳を言っていた方がいいですね。7,782万円が公園整備。

【教育委員会事務局】 はい、公園がそうです。

【市長】 7782が公園、それから上屋が18634と。

【教育委員会事務局】 そうですね。もう一回言います。公園の整備が7,782万円、それから倉庫の復元が1億8,634万円。

それから、維持管理についてでございますけれども、基本的に公園の植栽の整備、草刈り、こういったものが年間、事業が必要になってきますので、こちらのほうが600万円ほど計上しております。

建物につきましては、毎年という形は必要ないんですが、いずれにしても、今後、かやぶきになっていきますので、かやぶきについては20年から25年に一度、かやぶきのふき替えが必要になりますけれども、その間は一部分的な、部分的な補修だとか、そういったものをやることになっていきますので、当面は草刈りの費用がかかるという形になります。

入場についてでございますけれども、24時間365日開放している市の公園になりますので、基本的には無料になります。今までも整備に係るイベントですとか史跡巡り、こういった事業をやっておりますけれども、基本的には無料でやっておりますので、今後、特別に何かを作るとか、ワークショップ的なものがない限りは、無料でいきたいと考えております。

以上です。

【東京】 すみません、もう一点追加で。ここは、先ほど市長のお話からもありましたけれども、もともと広場としてあった場所で、何か建物があつたのを建て壊したとか、民間の土地だったとか、そういうものではないということでしょうか。

【教育委員会事務局】 当初は一帯が畑になっておりまして、そちらを開発するということで、平成8年ですか、そのときに調査したときに、この倉庫群の跡が発掘されたということになりますので、その後、土地の公有地化だとか、そういったことをして、今の歴史公園のスペースを確保したということになります。

以上です。

【市長】 どうぞ。

【毎日】 毎日と申します。

当時の形に、建物とか、それから衣装を再現した、復元したというお話なんですけど、これはどれぐらいの厳密性で、どんなふうに行ったか、もうちょっと、これ、事務方の方への質問になるかと思いますが、説明いただけませんかでしょうか。

【教育委員会事務局】 飛鳥時代の初めての倉庫の復元ということですが、先ほどもお話ししましたように、現存するこの時代の倉庫がありませんので、まず、文献ですとか、考古学的な発掘の成果だとか、それから、現存する、倉庫ではなくても、飛鳥時代の建物というのが幾つか残っています。法隆寺ですとか、そういったところにあるもの、金堂ですとか五重塔、こういったものを参考にしながら、専門家の意見を聴きながらですね。ですので、100%これですというものではないんですけれども、推定から、奈良時代はこういう資料があるけれども、それに対して飛鳥時代はこういうことが考えられるとか、そういったことを総合して、より近いものという形で復元したのが現状になります。

【毎日】 これは、現場に倉庫の素材とか、そういうものは残っていたんですかね。推定をする上での材料は。

【教育委員会事務局】 現場に残っていたのは、実際には掘立柱という、礎石を置かずに、地面を突き固めて、柱の穴だけが出土しておりますので、実際の物としては、出土しているものはございません。

【毎日】 ありがとうございます。

【朝日】 朝日新聞です。

繰り返しになって恐縮なんですけれども、飛鳥時代の倉庫は、国内では現存していないということでしょうか。

【教育委員会事務局】 はい、現存している飛鳥時代の倉庫はございません。

【朝日】 復元された倉庫もこれまでなかったんですか。

【教育委員会事務局】 復元されたものも、奈良時代の、少し時代の下ったものは数件あるんですけども、飛鳥時代のものについては今回が初めてになります。

【朝日】 過去遡っても、ないということによろしいですか。

【教育委員会事務局】 復元したものとしてはございません。

【朝日】 奈良の斎宮遺跡とかでも復元はしていないんですか。斎宮遺跡。三重県でしたっけ。

【教育委員会事務局】 今お話しがあった三重県の遺跡についても奈良時代のものですので、特に飛鳥時代のものとしては復元していないようです。

【市長】 どうぞ。

【読売】 読売新聞です。

ごくごく基本的なまず基本情報から伺いたいんですけども、遺跡群それ自体は、宮前区にも広がっていたんですね。ただ、公園の所在地それ自体は、高津区のみでよろしいんですね、まず。

【教育委員会事務局】 橘樹官衙遺跡群、古代の役所跡と、それから古代寺院の跡。古代寺院の跡が、現在、影向寺といったお寺が建っている、その地下に眠っているということで、影向寺のエリアが宮前区になります。

今後、この遺跡、歴史公園はできましたので、かつ、影向寺のほうでも、お寺のほうの整備だとか、そういったことも遺跡、史跡の保全、それから活用を意識して進めていらっしゃいますので、併せて、両方で魅力発信だとかをこれからしていきたいと考えております。

【読売】 というか、公園所在地を表記する場合は、あくまで高津区のみでよろしいんですね。

【教育委員会事務局】 はい、この歴史公園は高津区の千年になります。

【読売】 その上で伺いたいんですけど、この倉庫とか柱の跡とかって、遺跡のどんぴしゃの位置に建っているんですか。

【教育委員会事務局】 資料1に平面図がございますけれども、この4棟、その真下に柱の穴の遺構が見つかっておりますので、その真上に、正しい場所に復元をしております。

【読売】 じゃ、位置的には、当時こういうのがこの辺りに建っていたという。

【教育委員会事務局】 まさにその場所に建っていたところになります。

【読売】 公園それ自体、原っぱのような、結構だっ広い空間があるんですが、こ

れはこの空間のままなんですか。何か今後増えていくんでしょうか。

【教育委員会事務局】 この歴史公園の範囲については、このままの形で保全しまして、それに応じていろんなイベントだとかをやっていきたいと考えています。

【読売】 あと、イベント当日のことで伺いたいんですけど、車で行ったら止める場所とか、あるいはこの原っぱのところとかに止めたりしても大丈夫なんでしょうか。

【教育委員会事務局】 これはちょっと課題になっておりますけれども、資料1の左上、平面図のところに、いわゆる障害のある方々用の駐車スペース、一部はございますけれども、一般の方が多く車で来ていただいて止めるような場所は、残念ながら現状は確保できていない状況です。

近隣が非常に道も狭く、住宅地になっておりますので、そこが課題でございますけれども、現状としては、下の影向寺入り口ですとか千年のバス停で降りて、公共交通機関で来て、徒歩で来ていただくようなところが現状でございます。

【読売】 ひとまず分かりました。ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問のほうはよろしいでしょうか。

【読売】 追加でよろしいですか。これも基本情報で、今日の新しい情報としては、公園の名前が出たのって初めてになるんですか。正式には。

【市長】 橘樹歴史公園という名称ですね。

【読売】 はい。公園を作るというのはずっと前から、5月になって言われて……。

【市長】 歴史公園としては初めてということですよ。

【読売】 橘樹歴史公園という名称が出たのは今日初めて、今日の発表事項みたいな。あと、日付も今日初めてになるんですか。

【市長】 はい。

【読売】 今日の発表事項としてはそこら辺がメインで、あと詳細ということでもよろしいですか。——分かりました。すみません、ありがとうございます。

【司会】 御質問はよろしいでしょうか。

#### 【市政一般】

#### 《川崎市の人口が155万人を突破したことについて》

それでは、引き続きまして市政一般に関する質疑をお受けいたします。進行につきましては、幹事社の記者様、よろしく申し上げます。

【神奈川（幹事社）】 神奈川新聞です。

先日、川崎市の人口が155万人を突破したということで発表がありました。まず、これについて、市長の受け止めに聞かせてください。

【市長】 150万人突破のときも申し上げたんですけれども、人口が増えていること自体は、まちの活力そのものだと思いますので、引き続き、川崎が元気で選ばれるまちとして、人口が増えているということを歓迎したいと、喜ばしいことだと思っています。

【神奈川（幹事社）】 市長も市内に住まわれているということで、川崎の魅力に関して、これもまた実感も含めてお話しいただければと思うんですけれども。

【市長】 この10年、20年の間で、単に便利ということだけでなく、やはり文化、スポーツ、そういったところが非常に充実してきたというところ、利便性以外のところが非常に充実してきたということもありますし、特にこの10年は子育て施策などにも非常に力を入れてきたという自負もあります。そういったことから選ばれているのではないかなと思っていますし、これから、いつも言っていることですが、ちょうど産業の転換点というところもありますので、これからまたさらに飛躍をしていきたいと思っています。

【神奈川（幹事社）】 今後、2030年までは増加が続くというふうに見込まれていまして、それ以降は減少に転じるということになります。そう遠くないうちに減少に転じることが予想されますけれども、人口減に向けて今やるべきことは何だとお考えなのか、教えてください。

【市長】 やはり、人口が増えているからと言って、これまで、右肩上がりのような、例えば公共施設をどんどん増やしていくだとかということではなくて、うまく、賢く使っていくという形で、今、資産マネジメントの取組というのをしっかりやっていますが、そういったことを市民の皆さんと一緒に考え、理解を得ながら取組を進めていくことが大事だろうなと思っています。増えているんだけど、その先を見据えた市政運営というのが何よりも大事だと思っています。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

#### 《「川崎大空襲記録展」について》

【t v k（幹事社）】 t v kと申します。

平和館で今行われている「川崎大空襲記録展」、会期が延びたということなんですけれども、こちらはどのようにして会期を延長されたのでしょうか。

【市長】 ごめんなさい、私、その理由は存じませんが、担当の方はいらっしゃいますか。ごめんなさい、私、答えられなくて。

【t v k（幹事社）】 戦争が終わって、戦争を体験されている方が少なくなっているという中で、かなり、こういう記録展を行うというのは重要な意味があるかなと思う

んですけれども、市長としては、ゴールデンウィークも挟んで15日まで行われるということなんですけど、どういう意味があると思われますか。

【市長】 これまでも企画展というのを繰り返しやって、ターゲットを、やはり若い人たちに理解をしてほしいという思いは強く持っています。特に、戦争を知らない世代というのがもうほとんどの時代ですので、戦争の現実というものをしっかりと学んでいただいて、そして平和につなげていくという、そういったところ、多世代で学んでいただきたいと思うんですが、特に若い世代にはその機会を多く提供していきたいと思っています。

【tvk（幹事社）】 ありがとうございます。幹事社からは以上です。

#### 《目黒区長選挙等について》

【市長】 どうぞ。

【東京】 東京新聞です。

先日、目黒区長選の応援に行かれたということをお聞きしたんですけれども、伊藤氏とはマニ研のつながりで行かれた、マニ研のつながりでのお友達なのかということと、比較的、目黒区と川崎市、同じ沿線だったりということもあると思いますし、隣接はしていないけど近接しているぐらいの感じなのかなと思うんですけれども、同じ志の首長が生まれてほしいという思いなのかなとは思いますが、それによって生まれる双方の自治体の住民へのメリットみたいなものをお聞かせいただけますでしょうか。

【市長】 まず、どういうつながりかといいますと、マニフェスト研究所でのマニフェスト大賞等とのつながりというのがありますけど、それ以前から、お互い政治家の秘書をやっていた時代からの長年の友人でありますし、地方自治を同じ志でやってきた仲間、親友とも呼べる方ですので、その応援に行ったということです。

理由としては、僕は今まで人の選挙にあまり行っていなかったんですけれども、やはり首長が替わると、いろいろ自治体って大きく変わるので、そういった意味では、高い志を持った首長という仲間が次々と増えていくことは、日本全体として大事なことだというふうに、やや私も考えを改めてきている部分もありまして、どこまで行くかは別にしても、積極的にこれから、できることは少ないですけど、そういう仲間のところには応援に行きたいなという思いは持っております。

目黒、隣接というか近接ですね、のところで、首都圏で次々と自治体改革ドミノみたいなものが起きていくということは、国政はなかなか変わりませんが、地方は変わっていくんだという姿を示すことができるのではないかなと期待はしております。

す。

【朝日】 選挙の話が出たので、東京補選には応援に行かれる予定はございますか。

【市長】 ないです。

【朝日】 そうですか。ありがとうございます。

【司会】 御質問のほうはよろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして定例市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

【市長】 ありがとうございました。

(以上)

---

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当